○重要な会計方針等

１．有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法によっている。

ただし、債券は償却原価法によっている。

２．固定資産の減価償却方法

⑴　有形固定資産

定額法を採用している。

なお、主な耐用年数は次のとおりである。

建物　　８年～18年

その他　２年～20年

これによる減価償却累計額は8,051,181円である。

⑵　無形固定資産

当機構利用のソフトウェアについては、機構内における利用可能期間（５年以内）に基づく定額法を採用している。

３．引当金の計上基準

⑴　賞与引当金

役職員に対する賞与の支給に充てるため、翌事業年度の賞与支給見込額のうち当事業年度の負担となる額を計上している。

⑵　退職給与引当金

役職員の退職金の支給に備えるため、期末要支給額を基準として計上している。

４．その他財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理方法

税込方式によっている。

金融再生勘定

財　産　目　録

（令和８年３月31日現在）

（単位：円）

資産の部		
区分	摘要	金額
（流動資産）		**608,846,477,374**
現金・預金		2,081,386,997
当座預金		1,976,780,925
普通預金		104,606,072
預け金	整理回収機構	419,250,570
有価証券	国庫短期証券	606,316,732,635
仮払金	買取資産関連	19,849,030
未収収益	買取資産関連等	9,250,153
未収金	一般管理費	7,989
（固定資産）		**8,152,476,714**
資産買取事業資産		7,518,556,374
買取資産	ＳＢＩ新生銀行及びあおぞら銀行	14,888,458,879
貸倒引当金	買取資産関連	△ 7,369,902,505
有形固定資産		21,279,832
建物	事務所内部造作	19,677,142
工具・器具・備品		1,602,690
無形固定資産		12,640,508
ソフトウェア	財務部事務システム等	10,318,555
ソフトウェア仮勘定	財務部事務システム	2,317,635
電話加入権		4,318
投資その他の資産		
特定協定銀行貸付金	整理回収機構	600,000,000
資産合計		**616,998,954,088**

負債の部		
区分	摘要	金額
（流動負債）		**66,912,496**
未払金	一般管理費等	44,807,834
賞与引当金		22,104,662
（固定負債）		
退職給与引当金		57,791,129
負債合計		**124,703,625**
正味財産		**616,874,250,463**

貸　借　対　照　表

（令和８年３月31日現在）

（単位：円）

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
（流動資産）	**608,846,477,374**	**（流動負債）**	**66,912,496**
現金・預金	2,081,386,997	未払金	44,807,834
預け金	419,250,570	賞与引当金	22,104,662
有価証券	606,316,732,635	**（固定負債）**	
仮払金	19,849,030	退職給与引当金	57,791,129
未収収益	9,250,153	**（負債合計）**	**124,703,625**
未収金	7,989	**（剰余金）**	
（固定資産）	**8,152,476,714**	利益剰余金	
資産買取事業資産	7,518,556,374	積立金	616,874,250,463
買取資産	14,888,458,879	**（純資産合計）**	**616,874,250,463**
貸倒引当金	△ 7,369,902,505		
有形固定資産	21,279,832		
建物	19,677,142		
工具・器具・備品	1,602,690		